

MERRY IN NEW YORK

9.11.02 NEW YORK ⇒ 2.14.03 TOKYO

会期終了、ただし進行中のプロジェクト

At Roppongi Hills information Center / THINK ZONE (URL) <http://www.21merry.net>

笑いは幸と命の源泉

笑いがあれば、誰もがハッピーな気持ちになる。笑うことによって病気治療をしている医療機関さえあるという。

ニューヨークの人々を笑わせるために、現地へ乗り込んだ日本人アート・ディレクターがいる。水谷孝次さん。昨年の9月11日の前後10日間、水谷さんは、同市内の道端、住宅街、大学のキャンパスなどで、「あなたにとってメリーとは何ですか」という質問を投げかけた。対象は、近い将来を担う若い男女400人。それぞれが快くコメントをくれ、笑ってくれた。

その写真のうち252人分をこの2月、東京・六本木で展示した。写真の下には、おのおの手書きのコメントを載せた。例えばある女性はこういうメッセージをくれた。「自分が幸せであることを忘れなければ、誰でも、どこでも、いつでも、素晴らしい」……

水谷さんが「メリー」にこだわり始めたのにはわけがある。それまでは商業主義の広告界で、お金中心の世の中に疑いもせず忙殺されていた。しかし8年前の阪神淡路大震災後水谷さんは、復興支援活動に精を出した。それが、人間を見つめる、本格的に世の中に目を向けるきっかけとなった。「人間の原点に立ち返って仕事をしなければ」……

そこで考えたのが「メリー・プロジェクト」だ。メリーはメリー・クリスマスのメリーで、幸せな、楽しい、の意味がある。原宿、ロンドン、神戸、ニューヨーク……で、人々に話しかけ、笑顔を撮り続けた。

そして一昨年、ニューヨークの「9.11」が起きてしまった。以来、世界中が暗いニュースばかりだ。だからこそ水谷さんは、そのいまわしい日の丁度1年後、まだトラウマから抜け切れないニューヨーカーたちに話しかけた。みな好意的に接してくれた。

3年間に5千人あまりにもなる。

このミッションには終わりが無い。

